

木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」の令和7年度実績

1 要旨

令和7年度の木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」の実績は、耐震診断が887件となった。また、耐震補強は1,167件で、平成14年度の事業開始以来の累計は28,798件となった。

2 過去5か年のプロジェクト「TOUKAI-0」の実績 (単位：件)

事業名		R3	R4	R5	R6	R7	対前年度比	実績累計
木造住宅	耐震診断助成事業 (H13～)	1,707	2,497	3,107	5,079	887	17.4%	99,354
	耐震補強助成事業 (H14～)	574	640	698	1,115	1,167	104.7%	28,798
	建替・除却助成事業 (H18～)	160	133	129	129	118	91.5%	1,106

3 令和7年度の分析

- 令和7年度にプロジェクト「TOUKAI-0」事業を完了するため、事業の総仕上げとして令和6年度までの耐震診断実施者に耐震補強を呼びかけたところ、前年度をさらに上回る（対前年度比104.7%）1,167件となった。
- 耐震化が必要な昭和56年(1981年)以前の木造住宅の多くが既に築45年以上経過しており、一定数の方が耐震補強ではなく建替えや除却を実施したため、前年度比91.5%の118件となった。

4 令和8年度以降の取組

令和8年度からは、事業名を「TOUKAI-0⁺（プラス）」と改め、令和8年3月に策定した第4期静岡県耐震改修促進計画に基づき、耐震化に踏み出せない世帯には、最低限命を守ることを目的とした減災化対策の「耐震シェルター・防災ベッド」や、「外部改修など」を含め、幅広い選択肢を提示し対策の実施を呼びかけ「耐震化」と「減災化」の両輪で地震対策に取り組んでいく。

参加者募集告知 ・ 催事等の当日取材 ・ [実施事業等の紹介](#) ・ 調査結果等の公表